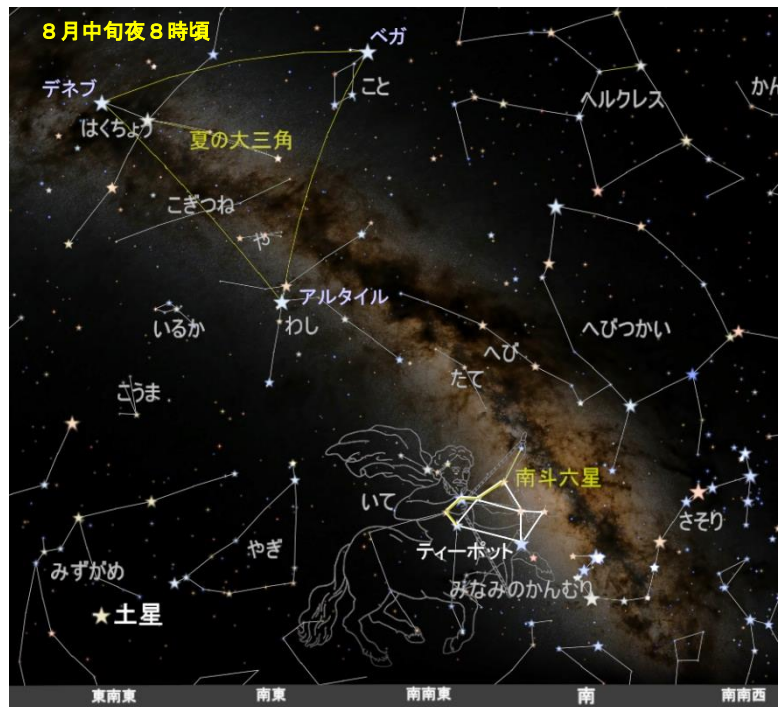


ジオスペース館だより

★ 今月の星もよう ★

8月中旬の夜8時頃には、天頂に《夏の
大三角》をつくる「こと座」のベガ、「はくち
ょう座」のデネブ、「わし座」のアルタイルの
3つの1等星が見えています。一方、南の低
い空には、ギリシャ神話に登場する、半人半
馬のケイローンが弓を引く姿をした「いて
座」があります。6つの星が小さな杓の形
に並んだ弓矢の部分は、サイズは小さいです
が、北の目印「北斗七星」によく似た形をして
いるため、「南斗六星」と呼ばれています。「南
斗六星」の柄の先の星は見にくいので、いて座
の弓矢の星を足して、「ティーポット」の形を
探すと見つけやすいかもしれません。さて、
「いて座」の辺りから《夏の
大三角》に向かって、光の帯のような星の集まりの「天の川」
が流れています。街中ではほとんど見えませんが、夜空が暗い海や山へ行く機会があれば、ぜひ星空を見上げて観察してみてください。

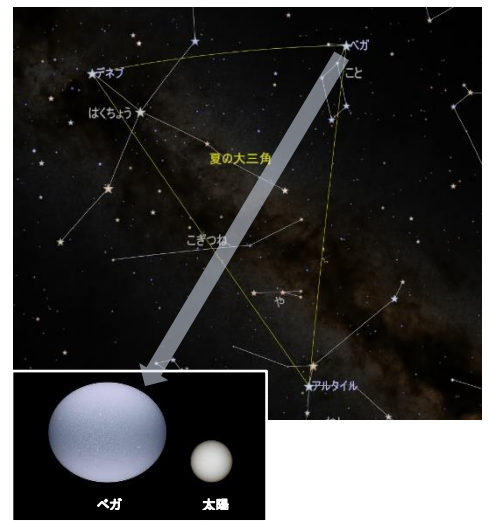
星図はステラナビゲーター11を用いて作成



★ こと座 α 星「ベガ」

夏の
大三角をつくること座のα星ベガは、夏の夜空で1番明るい1等星（精密に言えば1等星より明るい0等星）です。白く輝くこの星は、獲物をねらって急降下する鷲に見立てられ、アラビア語で「落ちる鷲」という意味が名づけられました。日本では古くから七夕の織姫星として知られています。ベガは直径が太陽の約2.7倍という大きな星ですが、自転周期が約12.5時間と猛スピードで自転しており、赤道方向に極端に膨れた形をしているそうです。

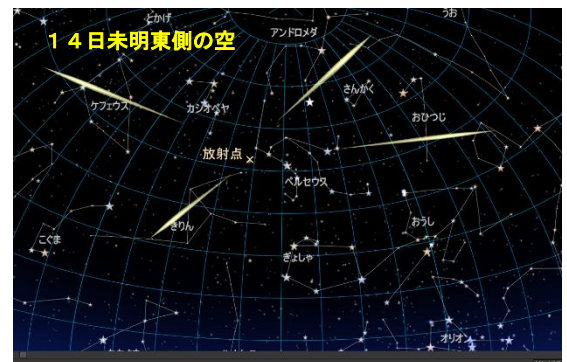
星の名	ベガ
星座	こと座
明るさ	0.0等級
距離	25光年



Credit: Credit: Matuš Motlo

★ ペルセウス座流星群を見よう!

三大流星群のひとつ「ペルセウス座流星群」が、8月11日の夜から14日の夜まで見ごろを迎えます。特に13日の夜明け近くと14日の夜明け近くに多くの流星が見られるでしょう。空の暗い場所で観察すれば、1時間に25個～30個程度の流星が見られると予想されます。なるべく空の広い範囲を見わたすようにして観察してみましょう。

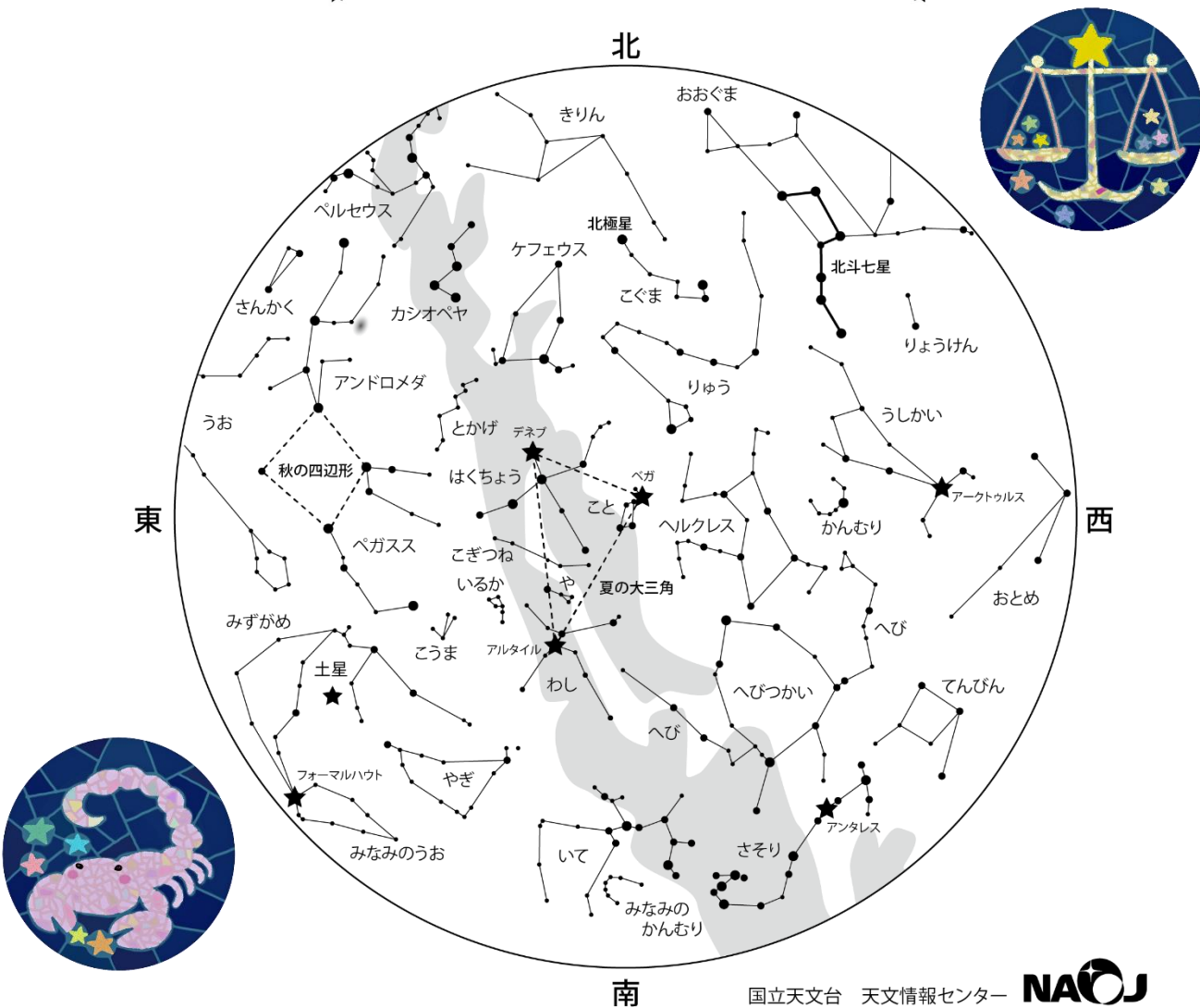


★ 8月のプラネタリウムの内容については、

別刷りの「投影案内」をご覧ください ☆☆

★ プラネタリウムのお休み 8/7(月)、14(月)～16(水)、21(月)、28(月)

8月上旬午後9時30分頃の星空



★ 8月上旬の主な天文現象

2日 (水) ○ 満月	10日 (木) 水星が東方最大離角
3日 (木) 月と土星が接近	12日 (土) 金星が内合
8日 (火) 立秋、深夜に月と木星が接近、 ● 下弦	13日 (日) ペルセウス座流星群が極大

★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ 8/1~15) ※下記時刻は、予想値です

◇ 8月1日 (火) [見やすさ ◎]	20:06 北西	~	20:11 南南東 (ISS)
◇ 8月3日 (木) [見やすさ ○]	20:04 西	~	20:09 南 (ISS)
◇ 8月5日 (土) [見やすさ ◎]	20:19 南西	~	20:22 南 (CSS)
◇ 8月7日 (月) [見やすさ ◎]	19:57 西南西	~	20:03 東北東 (CSS)

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) 中国宇宙ステーション (CSS) は、明るい星が動いているように見えます。飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。